

# 防災・減災に向けて⑤

今月号では、原子力災害対策に関連して、放射線の測定などについてお知らせします。

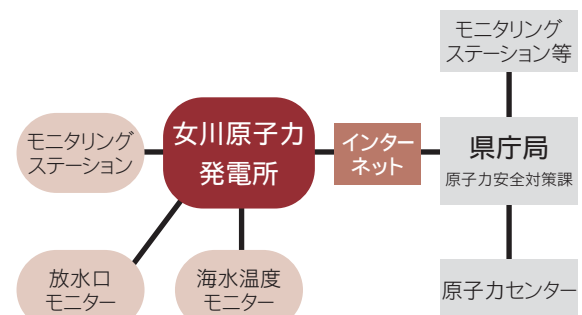
## 原子力施設周辺の環境モニタリング

女川原子力発電所の周辺では、宮城県と東北電力株式会社がモニタリングステーションやモニタリングポイントなどにより、環境中にある放射線の測定を行っています。また、野菜や海産物、雨水やちりなどを採取して、その中に含まれている放射線の測定を行っています。



## 環境放射線の監視

女川原子力発電所周辺に設置されているモニタリングステーションから常時送られてくるデータは、宮城県庁内のコンピュータに集められ、そのデータを原子力センターでチェックしています。その結果は、インターネットで、いつでも、だれでも見られるようになっています。



各出展「知ろう・学ぼう 原子力と放射線  
(宮城県環境生活部原子力安全対策課：平成25年3月発行)」

## 宮城県内の空間放射線量のモニタリング

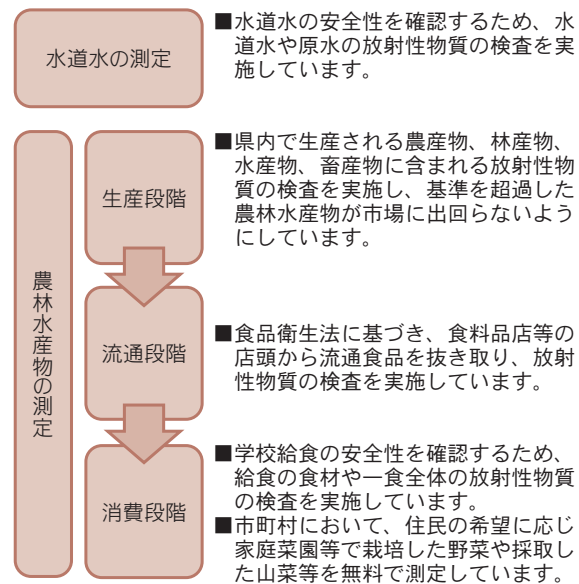
宮城県では、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の影響を踏まえ、女川原子力発電所周辺だけでなく、県内全域の58ヶ所にモニタリングポストを整備し、連続的に空間放射線量率を測定しています。この結果は、リアルタイムでホームページにて公表しています。(放射能情報サイトみやぎ<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/>)



## 水道水・農林水産物等の測定

宮城県では、飲食物への不安払拭と安全確保のため、水道水、農林水産物、流通食品、学校給食などに含まれる放射性物質の測定を実施しています。

放射能測定器は、原子力センター、産業技術総合センター及び水産技術総合センターに精密型放射能測定器（ゲルマニウム半導体検出器）を設置しているほか、関係地方機関に簡易型放射能測定器を配備して測定体制を強化しています。



問い合わせ 危機管理課 ☎46-1376



平成25年度 健康と長寿を祝う

# 敬老会

今年度の敬老会は、9月25日(水)から27日(金)までホテル観洋を会場に開催されました。今回の敬老会でも、各種団体の皆さんによるお祝いの演芸や元力士の大至さんによる歌が披露されるなど、楽しいひとときを過ごしました。

なお、今年の敬老会対象者(数え年で77歳以上)は、男944人、女1,597人の合わせて2,541人となっています。

